

視点

View Point

まつもと なつき
松本 夏樹 氏

長野商工会議所令和6年度青年部会長
株式会社松興 代表取締役社長



PROFILE
1979年7月18日生まれ。2008年株式会社松興を設立し、代表取締役社長に就任。2022年 第42回 北陸信越ブロック大会長野大会大会会長。2023年 委員長を歴任し、2024年 会長に就任。

を高めていくためには、会員全員が一人ひとりの胸にある未来への想を育みながら、これを次代へとつなぐべきではないかと感じています。

私はこの会に入ってから会長研修会や北陸信越ブロック大会を経験し、たくさんの方にお世話になりました。とりわけ大会会長をやらせていただいた北陸信越ブロック大会では、経験不足の私一人では到底叶わなかったことが、多くの方の支えで前に進み、大会を成功に導くことができました。青年部に入って私が痛感したのは、人の力はすばらしいということでした。

諸先輩方からいただいた経験をしっかりと会員に落とし込み、そのうえで一人ひとりが会の事業と自己研鑽を通し、未来へとつなぐ想をひとつでも多く醸成することが本年度の重要な責務です。

時代の変革とともに生まれる新しい価値観へ柔軟に対応しながら、果敢に挑戦することが、今個人にも組織にも求められています。そこで本年度は、委員会の数を減らして各々に所属する会員数を手厚くし、また副会長の数を増やす等、組織の見直しを行いました。より多くの会員が責任と権限をもって事業に携わること、より良い事業づくり、ひいては地域づくりにつながると考えます。

今年10月実施する青年部単独事業は、地域で活躍する未来の経営者の創出を目的としています。この事業にみるように、未来への想いを育み、これを次代へとつなぐことが、青年部の存在価値だと信じています。青年部はそもそも商工業者のための会であり、自社の発展なくして地域の発展はありません。所属する会員がその活動を通じて自己を研鑽し、自社の発展につながる人とのつながりを得ながら、この一年、長野市の未来を支える基盤をつくる想いを育てます。

未来へつなぐ想を育て、長野を支える基盤をつくる

自社の発展なくして地域の発展なし

長野商工会議所青年部会長として抱負をお聞かせください。

松本 まず、1月1日に発生した令和6年能登半島地震において亡くなられた方々へのお悔やみと、いまだ避難生活を余儀なくされている方をはじめ被災したすべての皆様にお見舞い申し上げます。

台風19号災害の折には長野市も甚大な被害を受けました。全国各地からたいへん温かいご支援をいただき、そのおかげで今に至っていることは記憶に新しいところです。能登半島地震の復興支援については、青年部としても令和6年度の活動のなかでしっかりと努めてまいります。

さて、青年部は長野商工会議所あつての会であり、商工業者のための会です。自社の発展なくして地域の発展はないと考えております。それゆえ、青年部に所属するすべての会員がこの会で経験したことをぜひ自社に活かしていただきたいです。青年部の活動が親会、さらに地域の発展に寄与するよう運営をしてまいります。

スローガン

「二樹百穫く未来へとつなぐ想」

今年度のスローガンとそこに込めた思いをお聞かせください。

松本 スローガンは「二樹百穫く未来へとつなぐ想」としました。一樹百穫とは、大計を成すには人材を育成すべきという、古代中国の宰相管仲の言葉です。長野商工会議所青年部が、今後も地域になくならない団体としてその価値

が享受できる環境をつくります。

これまでも親会の部会への参加、またおまつりへの参画を通じて、親会との間に密接な関係を築いてきました。今年度は青年部単独事業でも産業フェアin信州といった機会を通じて連携いただけるよう、水野会頭をはじめ親会の皆様と協議してまいります。今後も年を追うごとに親会との関係がより強く強くなることを願っています。

行政との連携では、毎年10月に風会議を実施し、さまざまなテーマについて忌憚なく意見を交わす場を設けてきました。地方の人口減少が課題となる今、今年度は未来へとつなぐ長野モデルの創出をテーマに、その実現に向けた具体的活動にまで踏み込んだ協議をするつもりです。

他にも、青年部の北陸信越ブロック大会等には積極的に参加し対外的な交流も深めます。さらに他の青年団体との間でも、この長野を未来へ向けて良くするという共通の志のもと、横のつながりを強固にしていくきっかけをつくれたらと考えています。

先ほど来申し上げたとおり、青年部で得られる人と人のつながりは、自己研鑽と自社発展の勝負カードです。これを糧に青年部は、未来に向けてチャレンジし、長野市を支える基盤をつくります。

10月に青年部単独の事業を実施

今年度はどんな事業に取り組みますか。また、親会等との連携についてどうお考えですか。

松本 まず青年部単独の事業についてお話しします。私たちは令和4年度より単独事業を模索し、昨年度は原田会長のもと青少年育成を目的とする事業の基礎が固まりました。これをもとに今年度は、地域で活躍する未来の経営者の創出を目的とした事業を10月に実施する予定です。その企画と実施は交流事業委員会が中心になって行います。

地域活性化委員会が携わるおまつりについては、松代春まつり、真田十万石まつり、長野えびす講煙火大会等一つひとつの事業で、より入念な企画構築、手厚い支援に努めます。たとえば、長野えびす講煙火大会については、会員の家族が楽しんで参加できる企画を考えています。

はじめに申し上げた自社の発展のためには、交流事業が重要になってきます。ビジネス交流委員会を中心にビジネス交流会、交流新年会などを開催し、多様な業種に携わる者同士が交わることで得られる知恵や知識を121名の会員すべ

DATA

株式会社松興
[設立] 2008(平成20)年
[活動内容] 産業廃棄物収集運搬業、建物解体工事
[所在地] 長野市大字富竹965-6
[TEL] 026-236-9380

横顔

仕事のつき合いであるゴルフが今は数少ない趣味の一つ。平日は仕事や各種所属団体の活動に追われるため、休日には家族の時間を大切にしている。奥様と子供3人の5人暮らし。